



Happiness is sharing.
Gafuhis En
24 June '02
John

トヨタ財団国際助成 成果展

Happiness is Sharing

アジア大都市圏の未公認集住地の未来を描く ～ カンポン・アクアリウムの集住地再建に溪洲部落の経験をつなぐ ～

2021.3.28sun. - 4.3sat.

会場 長者町コットンビル 1F 時間 10:00 - 17:00

尚、3月27日はオンラインシンポジウム @zoom を予定 会期中無休・入場無料

〈共催〉 京都大学神吉研究室、
NPO 法人まちの緑側育くみ隊
〈助成〉 公益財団法人トヨタ財団
〈企画・展示制作〉 太田裕通、成原隆訓、浅井家





延藤安弘文庫デジタルアーカイブ

延藤の書齋をバーチャル化し記録した。台湾溪洲プランニング時のよすがとなった資料や書籍、空間の雰囲気などを、バーチャル上の書齋を自由に見て回りながら、延藤の頭を覗くことが出来る。



トヨタ財団国際助成 成果展

Happiness is Sharing

アジア大都市圏の未公認集住地の未来を描く
～カンポン・アクアリウム集住地再建に溪洲部落の経験をつなぐ～

本展は、トヨタ財団国際助成プログラム（2018）「課題名：アジア大都市圏の未公認集住地の未来を描く～カンポン・アクアリウムの集住地再建に溪洲部落の経験をつなぐ～」の成果展覧会であると同時に、「まち育て」の提唱者であり建築家・地域プランナーであった故・延藤安弘が残したものを未来へ繋ぐ機会の一つである。本プロジェクトの目的は、台湾原住民族「アミ族」のコミュニティ：溪洲部落の政府による立ち退き危機から住民参加によって再建へ向かった経験を、同じく 2016 年政府による強制撤去から住民主導で再建へと向かうジャカルタのコミュニティ：カンポンアクアリウムに繋ぐことであった。本展では、延藤が地域における生活文化の価値を表現する際に自ら撮影した写真に語りのをのせる「幻燈会」をはじめ、住民自らが生き生きと自地域の価値を語ることを通してダイナミズムを育み人間と環境の間の「幸せの分かちあい」を実現するプランニングを写真と映像で展示する。



2021.3.28sun. - 4.3sat. 10:00 - 17:00

会場 長者町コットンビル 1F 愛知県名古屋市中区錦 2丁目 11-24

尚、3月27日はオンラインシンポジウム @zoom を予定 会期中無休・入場無料

お問い合わせ先：延藤文庫事務局(NPO法人まちの縁側育くみ隊) 052-201-9878

〈共催〉京都大学神吉研究室、NPO法人まちの縁側育くみ隊
〈助成〉公益財団法人トヨタ財団 〈企画・展示制作〉太田裕通、成原隆剛、浅井家

